



©PlayPumps International

南アフリカ共和国

動力は子どもの遊び 「一石五鳥」の水道システム

世界銀行タスク・チーム・リーダー 鎌田卓也

WATCH FIRE

【開発途上国の明日】



これはただの回転遊具ではなく、子どもが遊ぶ動力を利用して清潔な地下水をくみ上げる「プレイポンプ」という水道システムである。水は広告塔の中にあるタンクに蓄えられ、飲料水となる。不潔な水が原因で多数の乳幼児が死亡するアフリカでは、こうした水の確保は大変貴重だ。

途上国の村落の水道は、援助で建設されても住民には維持や補修が難しく、運転経費も重荷で、しばしば運営休止となる。ところがプレイポンプは、電力もガソリンも、モーター整備も不要。運転経費はほぼゼロ、維持費も広告収入から捻出でき、エイズ予防などのキャンペーンにも使えるという、「一石五鳥」の仕組みだ。プレイポンプは、20年ほど前に南ア共和国の広告マンが展示会でポンプの原型を見かけ、広告塔付き貯水タンクを加えて起業したのが始まり。この数年で大ブレイクし、今ではアフリカ南部の4カ国で900以上の町や村に設置されている。その会社が後に発足させたNGO「Play Pumps International」には、この事業に賛同する世界中の慈善団体、有名人、企業、国際機関から寄付が集まっている。

革新的なアイデアと情熱、実行力があれば、資本と人は国境を越えてついてくる。グローバル化の明るい一面ではなからうか。

